



いしのまき

社協だより

編集と発行 社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

平成27年1月14日

第38号

〒986-0822

石巻市中央二丁目4番20号

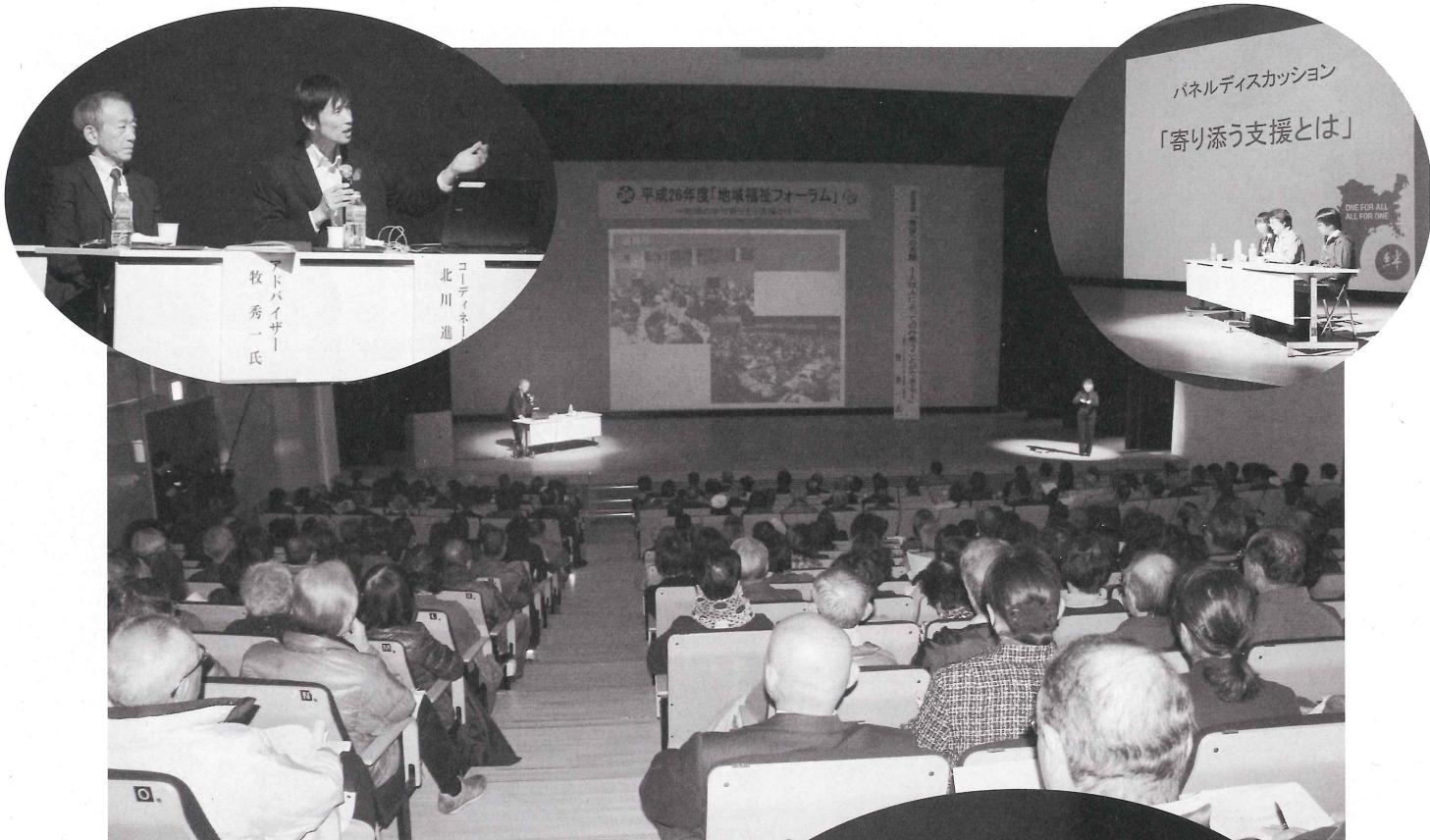
TEL 0225(96)5290(代)

FAX 0225(96)5223

<http://www.ishinomaki-shakyo.or.jp>

地域の中で寄り添う支援とは

～「地域福祉フォーラム」を開催し、地域コミュニティ強化の必要性を皆さんとともに考えました～



11月26日（水）、遊楽館を会場に地域福祉フォーラムを開催しました。

市内の町内会関係者や民生委員児童委員、一般市民など、約430名の方が参加され、会場は満席となりました。

また、本会が今年度、初めて実施した福祉絵画コンクールの表彰式を行い、入賞者に賞状と記念品を贈りました。
(詳細は3ページをご覧下さい)

第38号の 主な内容

- 新年のご挨拶
- 受賞者紹介
- 地域福祉フォーラム
- 絵画コンクール
- 災害復興支援
- 共同募金委員会から
- 各地域から
- ボランティア通信
- ひろがる善意

この広報は、皆様からの会費と赤い羽根共同募金配分金の一部により発行しています。

新年のあいさつ



社会福祉法人

石巻市社会福祉協議会

会長 高橋興治

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、佳き年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

おかげさまで市民の皆様方のご協力のもとに、各種事業が「第二次地域福祉活動計画」に基づき、順調に推進できおりますことに感謝と御礼を申し上げます。

本会といたしましては、石巻市や関係団体との連携のもとに、地域で安心して日常生活が送れるよう支援活動と併せ、コミュニケーションづくりにも力を注いで来ているところであります。

昨年は、異常気象により、全国的に記録的な大雨や大雪、そして広島市の土砂崩れ、御嶽山の噴火、長野県の地震等、多くの犠牲者と被害が出て、改めて東日本大震災の悲劇がよみがえり、常に災害対策を行つてくことの大切さを痛感させられました。

本年は、大震災から四年目に入り、各地域に復興事業の姿が見えるようになります。特に、被災された方々にとりましては、安心して暮らせる住居が最大の願いであり、復興公

最良の年となりますようお祈り申し上げまして挨拶といたします。

受賞おめでとうございます

11月5日(水)、仙台サンプラザを会場に第60回宮城県社会福祉大会が開催され、永年にわたり、社会福祉の発展に功績のあった方々が表彰されました。

石巻市で各表彰を受賞された皆様は下記のとおりです。この度の受賞、誠におめでとうございます。(※敬称略)

全国社会福祉 協議会会長表彰		【民生委員児童委員功労者】		【文化の日知事表彰】		【民生安定功劳】		【宮城県社会福祉 児童委員協議会 会長表彰】	
堀川 恵美子	中澤 定子	相澤 美智子	阿部 和子	山脇 裕三	千葉 千代子	吉田 紀雄	伊藤 政夫	櫻井 美子	沼雄一郎
千葉 八千代	阿部 光悦	鈴木 俊聖	阿部 善次郎	昭和 晴志	茂木 喜一	大森 義正	佐々木 安	阿部 清美	佐々木 安
館田 秋雄	高橋 照雄	佐藤 早苗	吉田 照雄	大橋 義正	三浦 喜一	伊藤 政夫	阿部 喜一	阿部 喜一	阿部 喜一
茂木 進	佐藤 加代子	甲谷 泰成	高橋 栄夫	佐藤 千代子	吉田 義正	吉田 義正	佐藤 千代子	吉田 義正	吉田 義正
奉仕功労者	平塚 みき子	加賀見 つるゑ	下山 善次郎	大橋 義正	大橋 義正	大橋 義正	大橋 義正	大橋 義正	大橋 義正
感謝状	水野 隆雄	佐藤 早苗	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	高橋 博子	鈴木 俊聖	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	阿部 ひろ子	佐藤 早苗	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	日野 雅晴	高橋 博子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	佐藤 つや子	佐藤 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	武田 美也子	平塚 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	石母田 千賀子	佐藤 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	阿部 けい子	佐藤 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	阿部 幸子	佐藤 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	茂木 克彦	佐藤 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正
感謝状	館田 春進	佐藤 みき子	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正	吉田 義正



地域福祉フォーラムを開催しました。

フォーラムの第1部は、NPO法人よろず相談室理事長の牧秀一氏を講師に、「希望への苦闘～人は人によってのみ救うことが出来る～」と題して基調講演をいただきました。

孤立者を防ぐ為には、話し相手となる存在や寄り添う人の存在が大切であると、これまでの経験を基にアドバイスをいただきました。

第2部では、宮城県社会福祉協議会の北川進氏をコーディネーターに、「寄り添う支援とは？」をテーマに、市内支援活動を続ける3人のパネリストが事例をとおして意見交換を行いました。

NPO法人ベビースマイル石巻の荒木裕美氏は、子育て中の母さんが地域の中で孤立しない為の居場所作り活動について、続いて民生委員児童委員（住吉地区）の北川禮子氏は、サロン活動をとおしてから地域の人に寄り添う思いについて、最後に本会の地域福祉コーディネーターの谷祐輔からは、地域の悩みや問題解決のためには地域住民と連携して支援活動を行っていく重要性について発表がありました。

地域の中に存在する課題や、声をあげられない人達の声をいかに聞いて、支えていくか、地域コミュニティ強化の必要性を改めて考えるフォーラムとなりました。



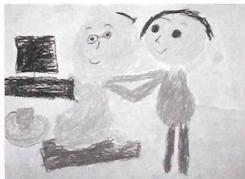
築きあげた信頼関係が地域の資源

「平成廿六年年度福祉絵画コンクール審査結果について」

【特別賞】		【佳作】		【優秀賞】		【市長賞】		【最優秀賞】	
須江小学校 眞山小学校	湊小学校	和済小学校	大谷地小学校	貞山小学校	蛇田小学校	金小学校	湊小学校	湊小学校	和済小学校
4年 5年 武山くるみ 磯部さえ 碧愛唯	5年 3年 本木千葉 由愛唯 由愛未	5年 5年 奥山愛唯 佐藤怜 佐藤綾香	6年 2年 佐藤太田 佐藤綾香	6年 3年 中山こよみ 依吹	5年 6年 阿部弥月 岡本直	1年 1年 鈴木こころ 伊藤芽衣	2年 1年 佐々木優衣 千葉穂香	1年 旭格	3年 木村明夢 木村明夢



○優秀賞
佐々木優衣



○市長賞
旭格



○最優秀賞
木村明夢



○優秀賞
千葉穂香



○優秀賞
伊藤芽衣



応募された作品は本会に展示しておりますので、優しい気持ちを持って描かれた児童・生徒の作品を多くの市民の皆様に是非ご覧いただきたいと思います。

○展示場所：社福協ビル（中央二丁目4番20号）1階ホール ○展示期間：3月31日まで

向陽小学校 親子福祉体験

11月13日（木）に向陽小学校4年生79名と保護者を対象に親子福祉体験が行われました。

この企画はPTA学年部が中心となり、日常生活の中でバリアフリーやユニバーサルデザインについて学ぶことを目的に実施されたものです。

当日は、はじめに石巻点字勉強会の浦川さんから点字について説明をいただき、その後、視覚に障害がある高橋さんから日常生活のこと

や趣味活動などのお話を聞いて、終わりに高橋さんがピアノ演奏を2曲披露してくださいました。

学校内で親子で福祉体験をすることは少ないので、とても貴重な時間となり、体験中、親子の関わりにおいても、ほのほのとした温かい雰囲気が感じられました。

この体験を通して、子供たちが福祉に対する理解を深め、自分たちの地域の中で、相手を思いやり助けあって成長してほしいと願っています。



点字の仕組みを学びました



ピアノを演奏する高橋さん

桃生

各地域からの

初めての地域交流会

10月23日（日）、表永井会館で77歳以上の敬老の方々を対象に、健康づくりと地域内の親睦を図る事を目的に地域交流会が開催されました。

当日は、28名の方々が参加され、踊りやカラオケなどで楽しいひと時を過ごすことができました。

向永井・表永井・西前地域交流会は、今回、初めての開催となり、参加者からは、「またぜひ開催して欲しい。」との声が多く聞かれました。



踊りや演芸で大笑い

楽しかった桃生地区高齢者特別研修会

10月22日（水）、南三陸のホテルで桃生地区高齢者特別研修会を開催しました。当日は、桃生地区にお住いの80歳以上の方々等総勢211名参加となりました。

研修の部では「歌謡漫談 笑いと人生」と題し、講師に田村田吾作氏と田村花あり氏をお招きし、講話をいただき、会場は楽しいお話し合いとなりました。

交流の部では、会食をしながら地域の方々と交流を深め、カラオケ等で楽しいひと時を過ごすことができました。

参加者の方は「また参加するからね。」と笑顔で声を掛けてくださいました。

来年度多くの皆さんのが参加お待ちしています。

講師の田村田吾作さんと
平成26年歌手の田村花ありさん

総勢211名の方々が参加

心のバリアフリーで住みよい地域に！

12月5日（金）、北上中学校2年生29名が、キャップハンディ体験学習に取り組みました。

視覚障害・下肢障害の体験を通して、「声掛けがあると安心する」「今日の体験で、これから自分たちは何ができるかを考えていきたい」などの感想が聞かれました。



アイマスクと白杖を使って歩行訓練



車イスでの自走体験

手作りおせち料理で良い新年を！

12月25日（木）、民生委員児童委員の方々が心を込めて手作りした、ひと足早い「あせち料理」を70歳以上の一人世帯の方々にお届けしました。



良い一年でありますように。。。

「人生楽しみ会」開催

河南地区民生委員児童委員協議会と共に、11月21日（金）、河南地区内にお住まいの65歳以上で一人暮らしの方を対象とした、「リンゴ狩り」と「昼食会」を開催しました。

一年ぶりに顔を合わせる仲間と、大いに話の花が咲きました。



いっぱい実ってます

民生委員さんもハッフル

ふれあい交流会開催

12月12日（金）、河南老人福祉センターにおいて、河南地区生きがいデイサービス利用者が一堂に会して交流会が開催されました。前谷地保育所園児によるお遊戯の発表と折り紙のお土産を頂きました。



また、町内在住の民謡ボランティアさんによる歌の披露があり、楽しく交流会をしました。

河南

出前講座を開催

11月25日（火）に大街道地区にある上大二会館を会場に、本会のヘルパーセンター職員が講師を担い、介護技術についての出前講座を開催いたしました。

講座の内容は成人用の紙おむつの種類や着脱方法、車椅子の乗り方について実技を交えて行われました。

参加者からは「高齢者介護は本人の自主性を尊重することが大切だと感じた」という声も聞かれました。

本会では介護技術以外にも様々な地域福祉に関する講座を用意しておりますので、お気軽にお問合せ下さい。



皆さん真剣です

体験中です

河北

老人クラブ4支部交流「復興交流スポーツ大会」開催

10月30日（木）、今年度で3回目となる河北・雄勝・北上・牡鹿の4支部老連合同の交流グラウンドゴルフ大会が追波川河川運動公園にておこなされました。

参加した方は、「震災でバラバラになってしまった元近所の仲間が集い、また、同じような思いをしている他の支部の方々と一緒にプレーをできることがとても気分転換になる」との感想を述べていました。

震災により会員数が激減し、クラブの運営が難しい地区もあり、111名の参加者は、日頃の練習の成果を披露しあいつつ、単位クラブや支部復興に向けての思いを胸に、晚秋の一日を過ごしました。



交流会といえども真剣勝負です

牡鹿

牡鹿地区給食ボランティア募集!

二ヶ月に一回、1人暮らし老人等給食サービス事業を開催しており、そのお弁当作り・配達ボランティアを募集しております。

年齢は問いませんので、ぜひボランティアで一緒にお弁当作りをしてみませんか？

詳細は、下記にご連絡下さい。

☎45-2684

牡鹿支所(担当:日野)



あゆかわの家お茶っ子飲み会におじゃました

毎月第2水曜日に、鮎川南地区の民家で、地区の皆様のお茶っ子飲み会が開催されています。

今回は、絵手紙を書いてみたいとの要望があり、牡鹿支所登録ボランティア団体絵手紙サークルふきのとうの皆様の協力を頂いて、11月12日（水）に絵手紙教室を開催しました。

初めて書く人がほとんどで、参加した方々は集中力を高めて、はがきに自分の好きな季節の果物や落ち葉等を書き、世界で一つしかない自分の絵手紙ができました。



皆さん 線書きが難しいようです

雄勝

いしのまき支援連絡会より 「交流会」のお知らせ

現在、市内で活動中のNPO・NGO・市民団体等が、復興に向けた情報共有と勉強の場として、毎月1回「いしのまき支援連絡会」(原則として毎月第2木曜日開催)を実施しています。

このたび当連絡会では、市内で様々なボランティア活動等に取り組んでいる皆さんと、連絡会参加団体との「交流会」を開催し、情報交換を行うことによって互いの活動を知り、団体間の連携を深める機会といたしますので、ぜひご参加下さい。

記

開催日：2月12日(木)午後1時30分～

場所：災害復興支援対策課 2階 講習室
(不動町二丁目16-10)

目的：地元活動者とのよりよい関係づくり

参加対象：市内でボランティア活動及び地域活動をしている団体・個人 等

参加費：無料 定員：50名程度

申込み：災害復興支援対策課 (23-3911 佐々木/平塚)

申込期間：1月18日(日)まで
申込先：☎ (23) 1718 (寿楽荘)
参加資格：市内在住で60歳以上の方
参加費：無料



寿楽荘からのお知らせ

寿楽荘では、今年度も「新春親睦将棋大会」を開催いたします。みなさんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。なお、大会当日の申し込みはできませんので、ご留意願います。

日 時：1月23日(金) 受付 午前8時30分～

場所：石巻市老人福祉センター「寿楽荘」

腕試しにいかがですか

本会では地域生活支援員を配置し、仮設住宅入居者等の生活相談や関係機関との連絡調整を行つてきておりますが、復興公営住宅への入居者支援事業についても、石巻市から受託し、これまで準備を進めて参りました。今後は、順次、復興公営住宅へ入居される方が増え、新たな生活に不安を抱えてしまう事が予想されます。

このため、地域毎でのコミュニケーションが段階的に図られるよう、住民の方を主体とした側面支援に取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

安心できる生活を目指して
「復興公営住宅入居者支援事業」

復興公営住宅入居数

[平成26年12月1日現在]

復興公営住宅名	入居戸数	入居者人数
根上り松	18	48
中里七丁目	20	50
沖六勺 西・東	46	112
南中里一丁目	48	121
栄田	13	42
合計	145	373



【お問合せ】

災害復興支援対策課 (不動町二丁目16-10)

☎ : 24-8502

(午前8時30分～午後5時15分 土日祝日を除く)

石巻市社協ウェブサイトをご活用下さい。

市民の皆様が活用できる様々な福祉情報を掲載しておりますので、本会ウェブサイトを是非ご活用下さい。

URLはこちらです。

<http://www.ishinomaki-shakyo.or.jp>

ボランティアセンター通信

～ボランティアセンターではこのような講座を開催しています～

地域活動サロン講座

10月25日(土)に、いしのまきレクリエーション協会会長の木村博氏を講師に、各地域で開催されている「サロン活動」や、「お茶っ子飲み会」で活用できるレクリエーションの指導をしていただきました。

ちょっとした工夫で楽しく出来る内容で、参加した皆さんは楽しそうに学んでいらっしゃいました。

レクリエーションにはルールはありませんが、参加者に合わせてゲーム等を行うことが大切で、楽しく進める秘訣を教えていただきました。



ラッピング講座

11月29日(土)に、本会として初めて趣味の講座として、佐藤美枝氏を講師に迎え、「包む」ことについて、その意味や地域の風習などについてお話をいただきました。

また、紙袋・テープ等の身近なものを利用して、心のこもった包装を学んだりと、美しいラッピングの技法を習得しました。

この講座は、サロンやお茶っ子会の中で、習得した技術を、また誰かに教えることで、地域の輪・職場の輪の中で広がっていくことを目的に実施しました。

災害ボランティア講座

12月6日(土)・13日(土)の両日、ささえあい総括センターを会場に開催しました。

6日は、ピースボートのプログラムオフィサーの小林深吾氏を講師に迎え、様々な災害時にあいてのボランティア活動の留意点などを学びました。

また13日は、東日本大震あいて本会で実際に行つた活動について報告するとともに、災害時に使用する作業機材の使用方法等を説明し、いざという時に慌てないよう学習しました。

今後、石巻の市民ボランティアとして、被災者への支援ができるように、継続して講座を開催していくことを考えています。



～講座開催のお知らせ～

★「聴き上手になるためには」★

普段の会話の中で家族や友人の言葉をどのような形で耳にしていますか？

「聞く」は自然に耳に入つて来ることですが、「聴く」は注意してその話に耳を傾けなことを言っています。

今回は「聞く」ではなく「聴く」ことをしてみませんか？難しいことではありません。ちょっとしたコツをつかめば大丈夫です。

その「聴く」力を身につけてもらうために講座を開催します。

- 開催日：2月14日（土）午前9時30分～正午
2月21日（土）午前9時30分～正午
- 会場：包括ケアセンター1階（南境字新小堤25-1）
- 定員：20名 ○参加費：無料
- 申込締切：2月10日（火）

★ 地域活動サロン講座 ★

今年度2回目となるサロン講座を開催します。

前回も多くの方々に参加していただきましたが、今回は、宮城県レクリエーション協会事務局長の山内直子氏を講師にお迎えし、お茶っ子飲み会や地域サロンで活用できる、楽しいレクリエーション指導について学びます。

- 開催日：2月28日（土）午前10時～正午
- 会場：ささえあい総括センター（不動町二丁目18）
- 定員：20名
- 申込締切：2月25日（水）

ひらがの喜意の輪
ご寄附ありがとうございました
平成26年10月1日～
平成26年12月10日までの受付分

ひらがの喜意の輪

※敬称略

● 石巻支所



● 河南支所



● 災害復興支援対策



● 石巻支所



● 河南支所



● 災害復興支援対策



- ・ 匿名希望 1件
- ・ 石巻ライオンズクラブ
- ・ 石巻サンファン
- ・ 国際ソロブチミスト
- ・ 雅部ミサホ
- ・ 株式会社 川口工業
- ・ 連絡協議会
- ・ 石巻工業高等学校生徒会
- ・ 橋本喜代三
- ・ 宗教法人 天赦總界
- ・ 石川信子
- ・ 菅原良子
- ・ 石巻ライオンズクラブ
- ・ 石巻サンファン
- ・ 全日本年金者組合
- ・ 仮設新田団地
- ・ 第十五期生陶芸教室
- ・ 和渕地区コミュニティ
- ・ カトレア会
- ・ 連絡協議会(東京都)
- ・ 石巻市消防団河南地区団
- ・ 西谷地 河原お茶会
- ・ 匿名希望 1件
- ・ 石巻支部
- ・ 推進協議会
- ・ 木村美和子
- ・ かしわホーム
- ・ 河北ライティング
- ・ ソリューションズ株式会社
- ・ 匿名希望 1件
- ・ 申込期間が災害発生日から6ヶ月以内となつてありますので、被害を受けられてまだ申請をしていない方は、お早目に申請をお願いいたします。



御礼 赤い羽根共同募金にご協力いただきありがとうございました

昨年も10月1日から12月31日まで「赤い羽根共同募金運動」が行われました。
皆様からお寄せいただいた募金は、福祉事業に有効に活用させていただきます。



広島市8・20大雨災害義援金をお寄せいただきました。

市立女子商業高等学校様、石巻を考える女性の会様より、義援金をお寄せいただきました。誠にありがとうございました。

これまでお寄せいただいた義援金同様、広島県共同募金会へ送金させていただきました。

共同募金委員会では、長野県神城断層地震被災地への義援金についても受け付けてありますので、詳しくは本会ウェブサイトをご覧願います。



宮城県共同募金会からの小規模災害見舞金について

社協だより第37号でお知らせいたしましたが、9月11日の大雨並びに10月14日の台風19号による住家被害（全壊、床上浸水）を受けられました世帯に對し、見舞金が支給（罹災証明必要）されます。申請期間が災害発生日から6ヶ月以内となつてありますので、被害を受けられてまだ申請をしていない方は、お早目に申請をお願いいたします。

石巻市社会福祉協議会 各支所 問い合わせ先

本 所・ 石巻支所	〒986-0822 石巻市中央二丁目4-20 TEL 0225-96-5290 FAX 0225-96-5223
河北支所	〒986-0132 石巻市小船越字山畠417-54 TEL 0225-62-1077 FAX 0225-62-1079
雄勝支所	〒986-1332 石巻市雄勝町小島字和田18-13 TEL 0225-61-3011 FAX 0225-61-3022
河南支所	〒987-1101 石巻市前谷地字黒沢前35 TEL 0225-72-3725 FAX 0225-72-2408
桃生支所	〒986-0313 石巻市桃生町中津山字八木157-1 TEL 0225-76-1020 FAX 0225-79-1018
北上支所	〒986-0201 石巻市北上町十三浜字吉浜266 TEL 0225-67-3025 FAX 0225-67-2031
牡鹿支所	〒986-2523 石巻市鮎川浜清崎山7 TEL 0225-45-2684 FAX 0225-45-2785

編集後記

間が過ぎました。
餅が大好物な私は、毎年のことく餅をたくさん食べ過ぎてしまい、食生活を改めなければと反省しながら、昔、祖母に「餅と大根おろしと一緒に食べるといいんだぞ」と言われたのを思い出しています。
世代から世代へ受け継がれること、人生の先輩方が生活の中で得てきた大切なものの、それを若い世代へ伝え続けられる環境づくりが大事だと感じます。(萬)
た年の始めです。